

和光・渋谷を真っすぐ行く副都心線

有楽町線・副都心線小竹向原駅

東京メトロ有楽町線・副都心線には要塞のように複雑な配線をしている駅があります。それは有楽町・副都心線小竹向原駅です。小竹向原駅は有楽町線・副都心線のほかに西武有楽町線も乗り入れています。そんな小竹向原駅は実は複雑な配線をしています。このわけは実は有楽町線と副都心線は千川駅から池袋駅まで上と下に分かれて走行しています。そのため手前の小竹向原で上と下に分かれるのです。上が有楽町線の下に副都心線が走っています。そんな小竹向原駅の配線は図1のようになっています

図1からみて左側から

有楽町線は所々謎の両渡線があります。この両渡線にはどんな秘密が隠されているのか！それを調べてみました！

なんとこの両渡り線はダイヤの遅れを取り戻したり非常事態の時に電車を折り返すためにあるのです！

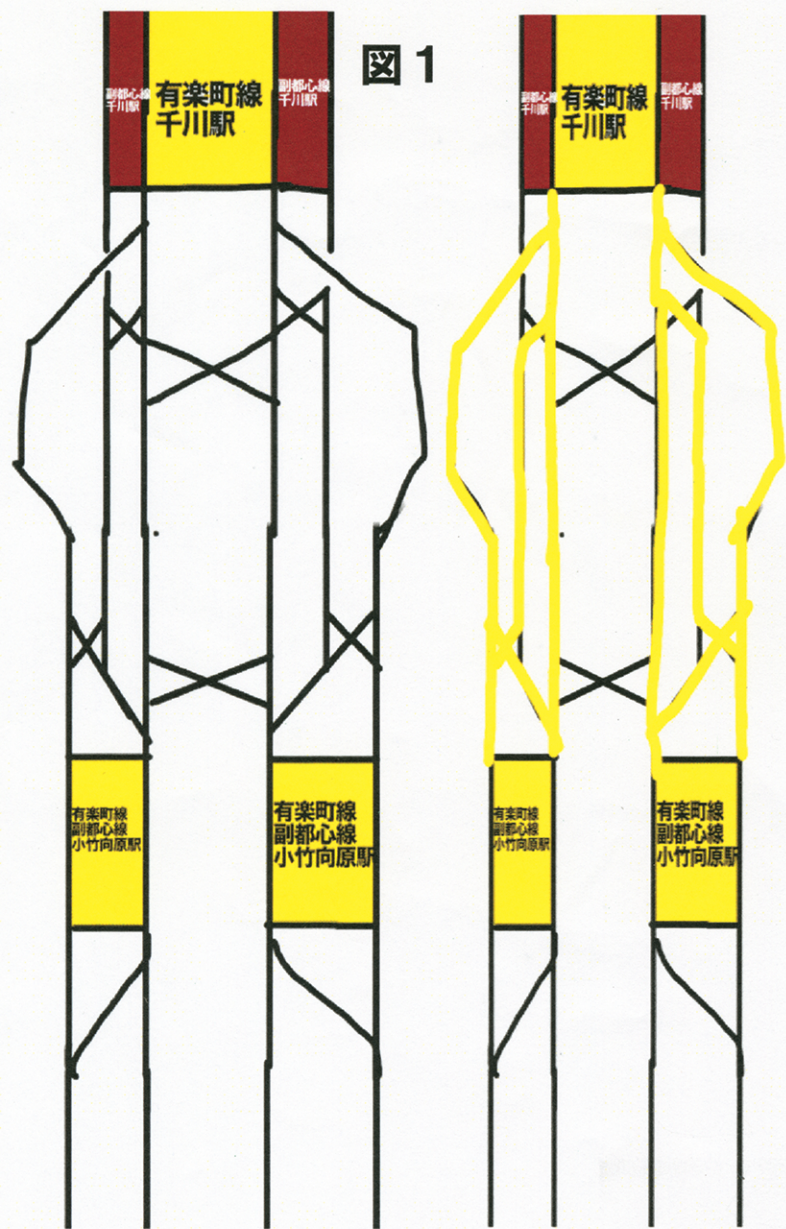
両渡線の秘密は遅れを取り戻したり、電車を折り返したりするためにあるということがわかりました。非常事態にまで予測するのは本当にすごいと思いました。

ちなみに謎の両渡線は、地下鉄成増、市ヶ谷、桜田門、銀座一丁目、新富町、豊洲、辰巳にあります！

有楽町線の秘密！？



和光市立白子小学校
6年 小澤志一
2,025年
8月4日



1番線、2番線、3番線、4番線
となっています。一番左の線路は
1番線から有楽町線千川駅のつな
がる線路、1番線と2番線の間に
ある線路は1、2番線から副都心
線千川駅につながる線路です。左
から3番目の線路は2番線から有
楽町線千川駅につながる線路で
す。右から1番目と右から3番目
の線路は有楽町線千川駅から来る
線路、右から2番目の線路が副都
心線千川駅から来る路線です。こ
のように複雑な線路にすることに
よって有楽町線と副都心線の電車
が同時に発車してもぶつからない
様になっています。

有楽町線・副都心線の過去の車両！？

有楽町線・副都心線には今は残念ながら引退してしまった過去の車両があります。それは東京メトロ7000系です。1974年の有楽町線開業時に製造された有楽町線の1番最初の車両です。2008年の副都心線開業前は黄色の帯をまわっていました。副都心線が開業すると下の画像のように茶色黄色、白の3色になり、一部の編成は8両編成になりました。運用範囲は埼玉県、東京都、神奈川県、1都2県の森林公園から元町中華街まで広がりました。さらに2019年に東武東上線の運用範囲が小川町まで広がり、元町中華街から小川町までも100キロ超えの運用範囲になりました。そんな有楽町線の最初の車両であり、広い範囲で使われてきた7000系ですが老朽化に伴い2021年から置き換えが始まりました。そして2022年にすべて引退しました。こうして有楽町線の最初の車両は幕を閉じました。

編集後記

今回有楽町・副都心線のことにについて書くこと思ったのは、よく利用する路線だからこそ、皆さんに知ってほしいと思い新聞を書いてみました。有楽町・副都心線は今でも進化を続けていて、有楽町線は2030年に支線となる豊住線が開業するのでとても楽しみです。副都心線も2023年に相鉄線と直通運転が始まり、新横浜や海老名、湘南台などの町へ乗り換えなしで行けるのは非常に便利だと思います。

